第1章 もっと使える便利な機能

■この章でおこなうこと

BroadStation の設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

1.1 通信環境を設定する

1.2 各種設定の変更と確認

1.1 通信環境を設定する

■ MacOS8.6 以降で BroadStation を設定する

BroadStation を、Mac OS 8.6 以降で設定する手順は以下の通りです。

メモ Mac OS 9.0/9.1 を使用している場合は、Open Transport を最新バージョンにアップデートしてください。最新バージョンはアップルコンピュータ社ホームページ（http://www.apple.co.jp/）からダウンロードできます。Open Transport についての詳細は、アップルコンピュータ社にお問い合わせください。

メモ
- Ethernet コネクタを搭載していない Macintosh を使用している場合は、次の設定をする前に LAN ボード / カードを Macintosh に取り付け、ドライバをインストールしてください。LAN ボード / カードについての詳細は、LAN ボード / カードに添付のマニュアルを参照してください。
- WEB ブラウザ（Internet Explorer4.0 以降または Netscape Navigator6.0 以降）が Macintosh にインストールされていない場合は、あらかじめインストールしてください。

1 別紙「らくらく！セットアップシート」の「２．BroadStation を据え付けましょう」を参照して、Macintosh と BroadStation を接続します。

⚠注意 すでにネットワークが構築されている場合は、BroadStation と Macintosh を 1 対 1 で接続し、BroadStation の設定をしてください。完了したら、BroadStation を既存のネットワークに接続してください。

2 Mac OS を起動します。
複数のユーザを登録している場合は、管理者ユーザでログインします。

3 WEB ブラウザを起動します。（ここでは Internet Explorer を例に説明します）

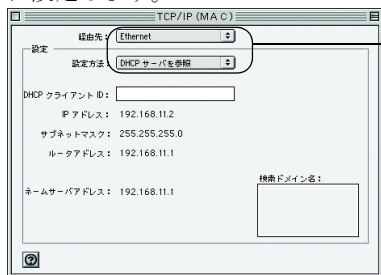
4 ［編集］－［初期設定］を選択します。

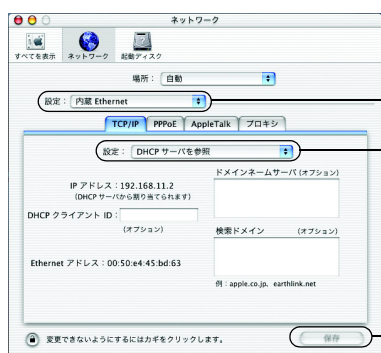
5 「初期設定」画面の左側に表示されている［ネットワーク］－［プロキシ］を選択します。

6 「WEB プロキシ」のチェックマークをはずして［OK］をクリックします。

7 以下の手順で TCP/IP の設定をします。

《Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合》

［アップルメニュー］－［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択し、次の通りに設定します。

《Mac OS X の場合》

［アップルメニュー］－［場所］－［ネットワーク環境設定］を選択します。

8 Mac OS を再起動します。

9 WEB ブラウザを起動します。

10 アドレス欄に「http://192.168.11.1」と入力し、［Enter］キーを押します。

11 「ユーザー名とパスワードを入力してください。」と表示されたときは、［ユーザー名］に「root」と入力し、［OK］をクリックします。

初期設定では、パスワードが設定されていません。

別紙「らくらく！セットアップシート」の「5　BroadStation をお客様の使い方に合わせて設定しましょう」を参照して、BroadStation の設定をしてください。

■ 2 台目以降のパソコンを増設します

2 台目以降のパソコンを増設するときは、以下の手順をおこないます。

1 パソコンに LAN ボードのドライバをインストールします。

2 パソコンと BroadStation を LAN ケーブルで接続します。

3 「パソコンの IP アドレスが正常に割り当てられているか確認したい」（P58）を参照して、パソコンの IP アドレスの設定を確認してください。

4 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［Internet Explorer］を選択します。

5 1 入力

［アドレス］欄に「http://www.airstation.com/」と入力します。
<Enter> キーを押します。

6 “airstation.com”が表示されます。

同様の手順で他のホームページのアドレスを入力すれば、指定したホームページが表示されます。

▶参照　ホームページが表示されない場合は、「第 2 章　困ったときは」の「パソコンの IP アドレスが正常に割り当てられているか確認したい」（P58）を参照してください。

以上で、2 台目以降のパソコンの増設は完了です。

■　他のパソコンと通信をする

BroadStationは4ポートスイッチングハブを内蔵しており、他のパソコンとのネットワーク環境を構築することができます。

設定方法の詳細は、Windows に添付のマニュアルまたはヘルプを参照してください。弊社では Windows の操作や仕様に関するご質問にはお答えできません。あらかじめご了承ください。

また、BroadStation マニュアル CD 内の電子マニュアル「TCP/IP の設定例と共有設定例」(「ネットワーク構築例」内に収録)にも設定例が記載されていますので、参考にしてください。

■ BroadStation の設定画面を表示する

1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2

「http://192.168.11.1」と入力します。

［OK］をクリックします。

3

「root」と入力します。

※ 「パスワード」は空欄にしてください。

［OK］をクリックします。

4

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

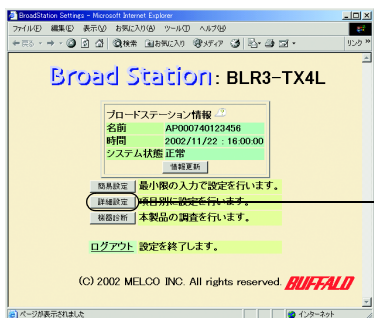
設定画面が表示されないときは、「第 2 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P36）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

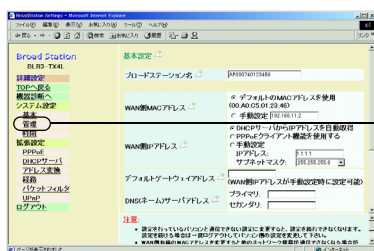
1.2 各種設定の変更と確認

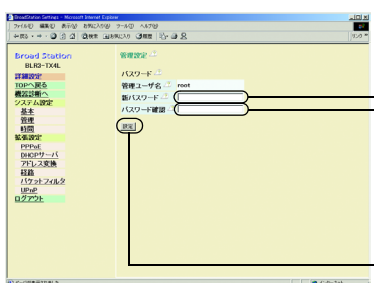
■ 設定画面のパスワードを設定する

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック ［管理］をクリックします。

4

1 入力 「新パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

2 入力 「パスワード確認」欄に再度パスワードを入力します。

3 クリック ［設定］をクリックします。

メモ パスワードとして入力できるのは、半角英数字と "_"（アンダーバー）の組み合わせで、最大 30 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。

パスワードを忘れてしまった場合は、BroadStaion 背面の設定初期化スイッチを 8 秒以上押すと、出荷時のパスワード（未設定）に戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

設定初期化スイッチについては、「5.1　各部の名称とはたらき」（P82）を参照してください。

■　Windows Messenger や MSN Messenger を使う（Universal Plug and Play）

Windows Messenger や MSN Messenger を使用する場合は、以下を参照してください。

■　UPnP（Universal Plug and Play）の対応について

BroadStation は UPnP（Universal Plug and Play）に対応しているため、UPnP に対応したアプリケーションを簡単に使うことができます。2002 年 11 月現在、UPnP に対応している Windows とアプリケーションは以下の通りです。

Windows

・WindowsXP

・WindowsMe

アプリケーション

・Windows Messenger Version 4.6 以降

・MSN Messenger Version 4.6 以降

メモ

- Windows2000/98/95/NT4.0 および MacOS は 2002 年 11 月現在、UPnP に対応していません。これらの Windows で Messenger を使う場合、一部機能に制限があります。（次ページを参照）
- MSN Messenger Version 5.0 以降をご利用の場合、本製品の UPnP を無効にしてご使用ください。UPnP を有効にすると、本製品が正常に動作しないことがあります。
- Messenger の最新版は、Microsoft のホームページ（http://messenger.microsoft.com/）からダウンロードできます。

■ 利用できる Messenger の機能

	Windows Messenger	MSN Messenger
インスタントメッセージ	○	○
音声チャット	○	○
ビデオチャット	○	機能なし
リモートアシスタンス	○	機能なし
アプリケーションの共有	○	機能なし
ホワイトボード	○	機能なし

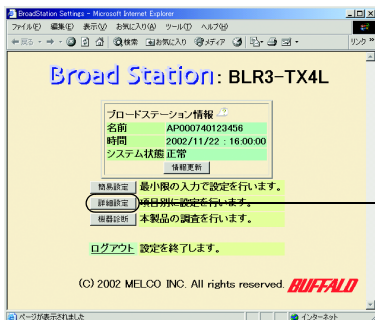
メモ
- Messenger をご使用になる前に Windows Update のすべての更新を適用することをおすすめします。
- UPnP 機能を無効にした場合（Windows2000/98/95 で Messenger を使う場合、MSN Messenger Version 5.0 以降を使う場合など）、同時に複数台のパソコンで Messenger を利用できません。また、「リモートアシスタンス」も利用できなくなります。
- Messenger の機能のうち、「ファイルまたは写真の送受信」は UPnP 機能を無効にした場合のみ使用できます。
- Messengerの機能のうち、「電話をかける」には対応しておりません。（2002年11月現在）

■ BroadStation の設定

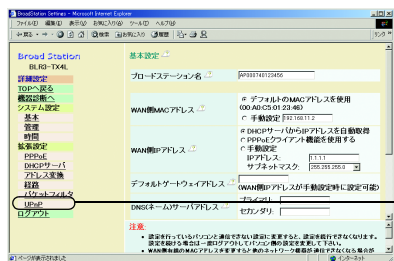
Messenger を使用する前に、以下の方法で BroadStation の UPnP 機能を有効にしてください。

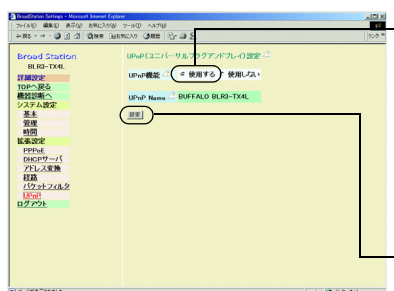
メモ
- BroadStation の UPnP 機能は、出荷時に無効になっています。
- MSN Messenger Version 5.0 以降をご利用の場合、本製品の UPnP を無効にしてご使用ください。UPnP を有効にすると、本製品が正常に動作しないことがあります。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、設定画面を表示します。

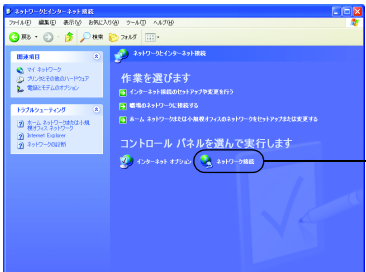
2

［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック ［UPnP］をクリックします。

4

1 選択 ［使用する］を選択します。

2 クリック ［設定］をクリックします。

■ UPnP サービスのインストール

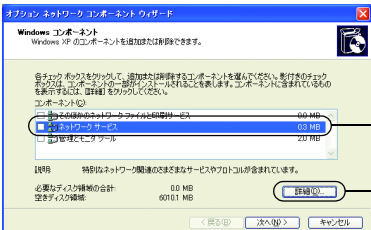
以下の手順で UPnP サービスをインストールします。手順は、WindowsXP と WindowsMe で異なります。

WindowsXP での設定

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2

1 クリック ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

3

1 クリック ［ネットワーク接続］をクリックします。

4

1 確認 「インターネットゲートウェイ」に「インターネット接続」が表示されていることを確認します。

2 選択 ［詳細設定］－［オプションネットワークコンポーネント］を選択します。

5

1 選択 ［ネットワークサービス］を選択します。

2 クリック ［詳細］をクリックします。

6

1 クリック ［ユニバーサルプラグアンドプレイ］の横の口をクリックして、チェックマークをつけます。

2 クリック ［OK］をクリックします。

7 手順 5 の画面に戻ったら、［次へ］をクリックします。

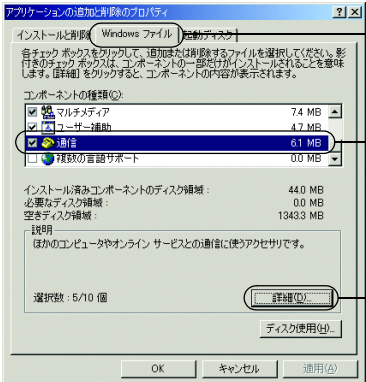
8 「ユニバーサルプラグアンドプレイ」がインストールされます。

9　［スタート］－［マイコンピュータ］を選択します。

10　1 クリック　［マイネットワーク］をクリックします。

11

1 確認　「ローカルネットワーク」に「BUFFALO BLR3-TX4L」が表示されていることを確認します。

以上で、UPnP サービスのインストールは完了です。

WindowsMe での設定

⚠注意
- Messenger を WindowsMe で使用する場合、DirectX のバージョンが 8.1 以降である必要があります。DirectX のバージョンが 8.1 よりも古い場合は、Windows Update（http://windowsupdate.microsoft.com/）からダウンロードしてインストールしてください。
- DirectX のバージョンは、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択 → 「dxdiag」と入力して［OK］をクリック　の順で確認できます。

1　［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2　［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

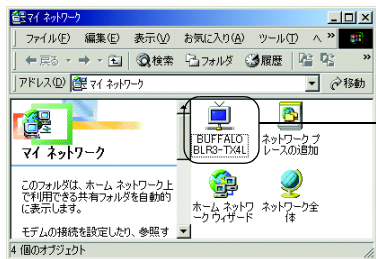
3

4

5 手順 3 の画面に戻ったら、[OK]をクリックします。
「ユニバーサルプラグアンドプレイ」がインストールされます。

6 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。

7 デスクトップの[マイネットワーク]をダブルクリックします。

8

1 確認 「BUFFALO BLR3-TX4L」が表示されていることを確認します。

以上で、UPnP サービスのインストールは完了です。

■ Messenger の使いかた

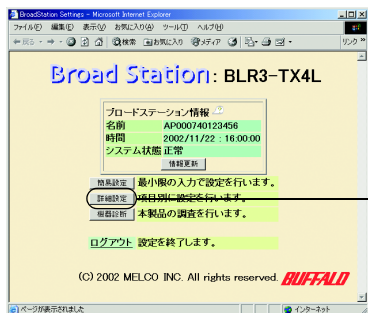
使いかたは、Messenger に付属のヘルプを参照してください。また、Microsoft のホームページ（http://messenger.microsoft.com/）にもヘルプがありますので、そちらもあわせてお読みください。

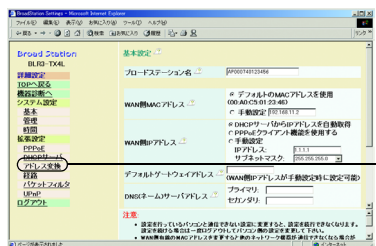
■ ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションを利用する / サーバを公開する

各種 NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなうには、以下の手順をおこないます。

メモ 静的 IP マスカレード機能の動作確認済みアプリケーションは、AirStation/BroadStation コミュニティサイト (http://www.airstation.com/) をご覧ください。

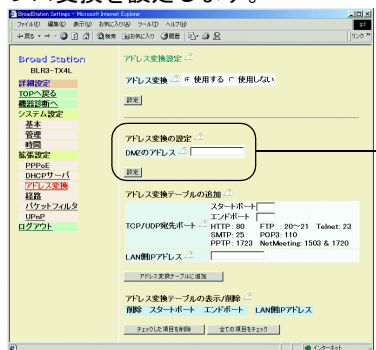
1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

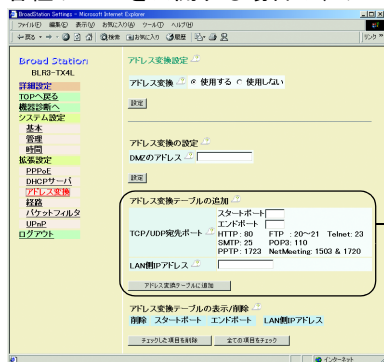
3

1 クリック

［アドレス変換］をクリックします。

4 ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションを利用する場合は、アドレス変換を設定します。

1 入力

- DMZ のアドレス（不明なポートを転送する LAN 側 IP アドレス）
  インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送される LAN 上の IP アドレス（DMZ アドレス）を設定します。ここで設定されたアドレスで、ネットワークゲームや再生型アプリケーションが楽しめます。ただし、［アドレス変換テーブルの追加］に［LAN 側 IP アドレス］を設定したポートについては、そちらの設定が優先されます。

5 ［設定］をクリックします。
画面の下に「設定を完了しました」と表示され、［アドレス変換設定］画面に戻ります。

6 各種サーバを公開する場合は、アドレス変換テーブルを追加します。

- スタートポート、エンドポート
  アドレス変換機能を使用するポート番号を入力します。
- LAN 側 IP アドレス
  インターネットからのアクセスの宛先となるプライベート IP アドレスを設定します。

メモ アドレス変換テーブルの設定例

WWW（HTTP）サーバを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送できます。

- スタートポート、エンドポート
  ［80］を入力します。
- LAN 側 IP アドレス
  WWW サーバ IP アドレスを入力します。
  例 :192.168.11.50

⚠注意 各種サーバの公開には､固定グローバル IP アドレスの取得が必要となります。ご注意ください。

7 ［アドレス変換テーブルに追加］をクリックします。
「設定を完了しました」と表示されたら、アドレス変換の設定は終了です。

■ NetMeeting を使う

NetMeeting を使用する場合は、次の設定をしてください。

メモ
- 通話を開始するタイミングによっては、まれに映像や音声の通信ができない場合があります。この場合は一旦通信を終了したのち、再度通話をおこなってみてください。
- WAN 側のパソコンと通信できるのは、アドレス変換テーブルに IP アドレスを設定した、任意の LAN 側パソコン 1 台です。LAN 側パソコン 2 台以上から同時に通信することはできません。
- ご利用になる通信環境や、プロバイダ等によっては NetMeeting による映像・音声通信がご利用いただけない場合もございます。
- プロバイダから提供される IP アドレスがプライベート IP アドレスである場合は、WAN 側のパソコンと通信できません。

■ 対応する NetMeeting

・Microsoft Windows NetMeeting Version 3.01 以降

メモ
- NetMeeting の最新版は Microsoft のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/netmeeting/）からダウンロードできます。NetMeeting の使い方や操作方法については、NetMeeting のヘルプ等を参照ください。
- Windows XP で NetMeeting を起動するには、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］で "conf" と入力して、<Enter> キーを押します。
  この手順で起動しない場合には、パソコンメーカーまたは Microsoft にお問い合わせください。

■ 設定手順

NetMeeting を使う前に、以下の 2 点の作業が必要です。

- BroadStation のアドレス変換テーブルの登録
- 自分の WAN 側 IP アドレスの相手先への連絡

BroadStation のアドレス変換テーブルの登録

「アドレス変換テーブル」に以下の登録が必要です。

- ポート：1720 ⇔ LAN 側パソコンの IP アドレス
- ポート：1503 ⇔ LAN 側パソコンの IP アドレス

以下の手順でアドレス変換テーブルの登録をおこなってください。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2 ［詳細設定］をクリックして、［アドレス変換］をクリックします。

3 ［アドレス変換テーブルの追加］で、［スタートポート］欄と［エンドポート］欄に「1720」を入力します。
［LAN 側 IP アドレス］欄に NetMeeting をおこなう LAN 側パソコンの IP アドレスを指定します。（LAN 側パソコンの IP アドレスは、下記のメモ参照）

4 ［アドレス変換テーブルに追加］をクリックします。
画面の下に「設定を完了しました」と表示された後、「アドレス変換設定」画面に戻ります。

5 手順 3 と同様に［アドレス変換テーブルの追加］欄で、［スタートポート］欄と［エンドポート］欄に「1503」を入力します。
［LAN 側 IP アドレス］欄 NetMeeting をおこなう LAN 側パソコンの IP アドレスを指定します。（LAN 側パソコンの IP アドレスは、下記のメモ参照）

6 ［アドレス変換テーブルに追加］をクリックします。

以上で設定は完了です。

メモ　LAN 側パソコンの IP アドレスは以下の方法で確認できます。
1 NetMeeting を起動します。
2 ［ヘルプ (H)］－［バージョン情報 (A)］を選択します。
［Windows NetMeeting のバージョン情報］に IP アドレスが表示されます。
※ NetMeeting に使用する LAN 側パソコンの IP アドレスを固定しておくことを推奨いたします。手順等についてはマニュアル等を参照ください。

メモ　プロバイダから固定の IP アドレス割り当てられている場合を除き、IP アドレスは常に同じであるとは限りません。NetMeeting で通話できなくなったときは、BroadStation の WAN 側 IP アドレスおよび相手先の IP アドレスを再確認してください。

BroadStationのWAN側IPアドレスと相手先IPアドレスの確認

NetMeetingを使用するには、通信相手のIPアドレスをあらかじめ知っておく必要があります。

BroadStationのWAN側のIPアドレスを次の手順で確認して、相手先に連絡してください。また、相手先のIPアドレスも連絡してもらうようにしてください。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2 ［機器診断］を選択します。
［本体情報］に［WAN側IPアドレス］が表示されます。このIPアドレスを相手に連絡してください。

■ 通話のしかた

《自分（LAN側パソコン）から相手先に通話を発信する場合》

アドレスバーに相手先のIPアドレスを入力し、［通話する］をクリックします。

メモ
- 相手先のIPアドレスは、メールやインスタント・メッセンジャーなどを利用して、連絡してもらってください。
- Microsoft インターネット ディレクトリ には、現在のところ対応しておりません。

《相手先（WAN側）からの通話を受信する場合》

NetMeetingを起動しておきます。

■ IP Unnumbered の設定をおこなう

BroadStation は、IP Unnumbered に対応しています。IP Unnumbered を使用することで、プロバイダから配布された複数のグローバルIPアドレスをBroadStationに接続した各パソコンで使用できます。

ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

例：プロバイダから「10.10.10.8（サブネットマスク 255.255.255.248）」（固定アドレス 8 個）という IP アドレスが割り当てられた場合。

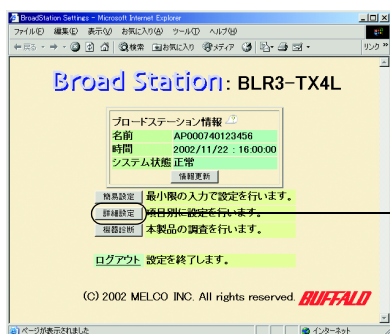
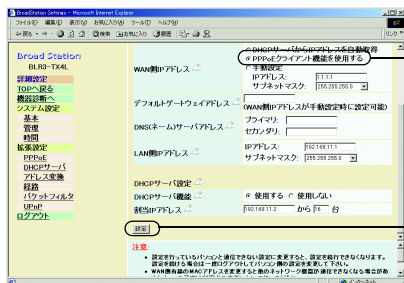
WAN 側アドレス（自動設定)..................10.10.10.8（ネットワークアドレス）
LAN 側アドレス（手動設定)...................10.10.10.9（ゲートウェイ）
1 台目のパソコン（手動設定)..................10.10.10.10（グローバル IP アドレス）
・
・
5 台目のパソコン（手動設定)..................10.10.10.14（グローバル IP アドレス）
ブロードキャストアドレス ....10.10.10.15（ブロードキャストアドレス）
サブネットマスク 255.255.255.248

メモ　プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定を行ってください。

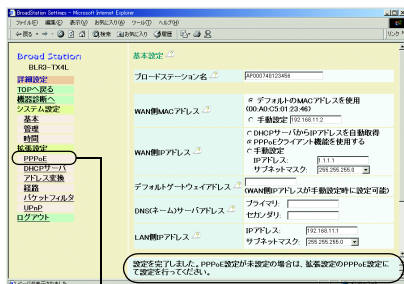
■ BroadStation の設定

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、設定画面を表示します。

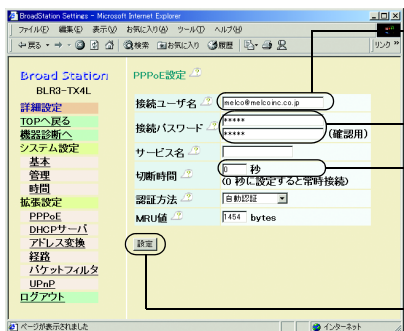
2 1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

BroadStation Settings - Microsoft Internet Explorer
Broad Station: BLR3-TX4L
ブロードステーション情報
名前 AP000740123456
時間 2002/11/22 : 16:00:00
システム状態 正常
情報更新
簡易設定 最小限の入力で設定を行います。
詳細設定 項目別に設定を行います。
機器診断 本製品の調査を行います。
ログアウト 設定を終了します。
(C) 2002 MELCO INC. All rights reserved. BUFFALO

3

1 選択 「WAN 側 IP アドレス」欄の［PPPoE クライアント機能を使用する］を選択します。

2 クリック ［設定］をクリックします。

4

1 確認 「設定を完了しました」と表示されることを確認します。

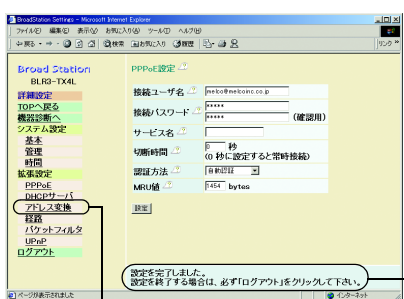
2 クリック ［PPPoE］をクリックします。

5

1 入力 接続ユーザ名を入力します。

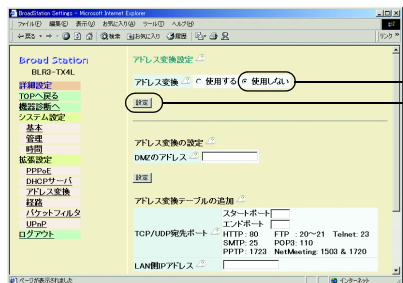
2 入力 接続パスワードを入力します。
入力したパスワードと同じものを（確認用）にも入力してください。

3 入力 「切断時間」欄に「0」を入力します。

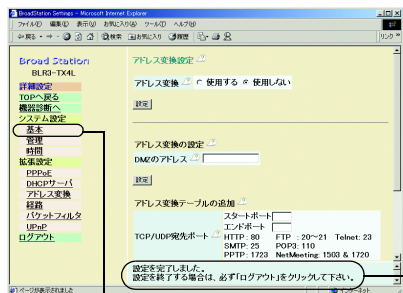
4 クリック ［設定］をクリックします。

6

1 確認 「設定を完了しました」と表示されることを確認します。

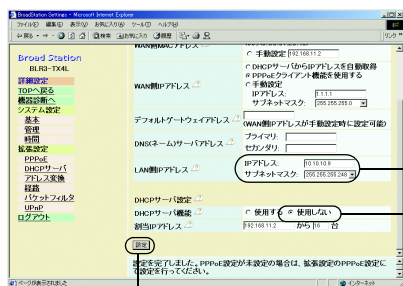
2 クリック ［アドレス変換］をクリックします。

7

1 選択 「アドレス変換」に「使用しない」を選択します。

2 クリック ［設定］をクリックします。

8

1 確認 「設定を完了しました」と表示されることを確認します。

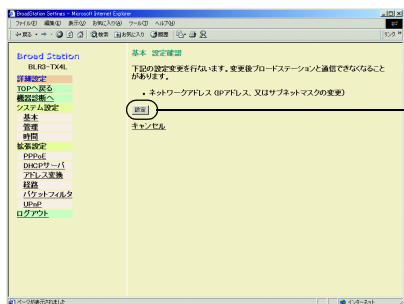
2 クリック ［基本］をクリックします。

9

1 入力 プロバイダから割り当てられたグローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

⚠注意 ここで入力する IP アドレスは必ずメモしておいてください。BroadStation の設定画面を表示する際に必要になります。万一、忘れてしまった場合は、BroadStation の設定を初期化してください（P32）。

2 選択 「DHCP サーバ機能」に「使用しない」を選択します。

3 クリック ［設定］をクリックします。

10

以上で BroadStation の設定は完了です。次にパソコン側の TCP/IP を設定します。

メモ　以下の説明では、Windows2000 画面で説明します。TCP/IP の設定画面については、電子マニュアル「TCP/IP の設定例と共有設定例」（「ネットワーク構築例」内に収録）を参照してください。

■ パソコン側の設定

1

2　すべて設定できたら［OK］をクリックします。
他のパソコンも同様に設定してください。

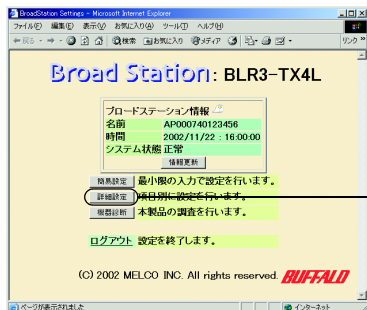
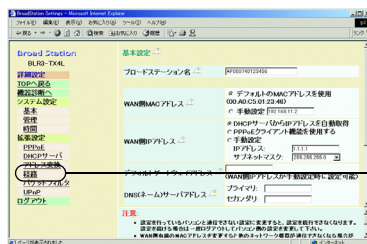
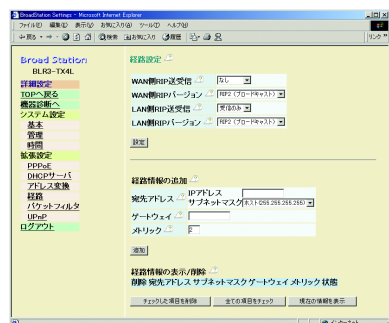
以上で設定はすべて完了です。

■ ルーティング機能の設定をおこなう

以下の設定で、各種ルーティング機能の設定ができます。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2

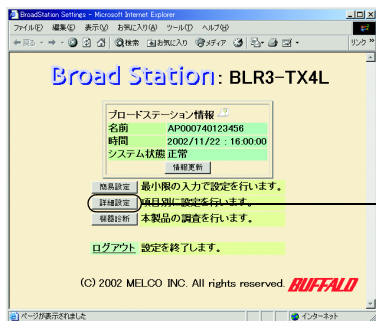
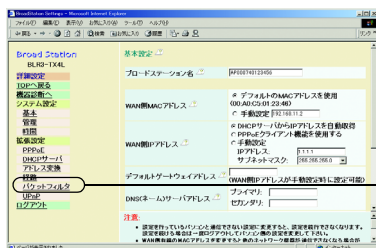
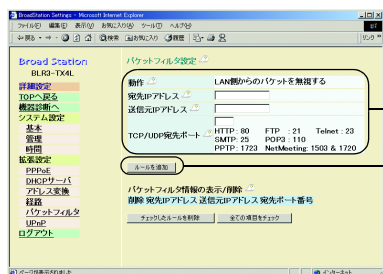
［詳細設定］をクリックします。

3 ［経路］をクリックします。

4 この画面で各種ルーティング機能の設定が可能です。各機能については、次ページを参照してください。

- RIP 送受信
  RIP は、ルータ間で自動的にルーティングテーブル情報を交換するプロトコルです。WAN 側 RIP 送信は、IP マスカレード使用時には無効となります。RIP を誤って設定すると、多数のルータが通信できなくなるなど、多大な影響を及ぼしますので、設定には充分ご注意ください。
- 経路情報の追加
  ルーティングテーブルを手動で追加することができます。

■ パケットフィルタの設定例

パケットフィルタの設定で、手動でフィルタを追加することができます。
設定手順は以下の通りです。

メモ　本製品では、「LAN 側から WAN 側へのパケットを無視する」のみ対応しています。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2 1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

3 1 クリック 「パケットフィルタ」をクリックします。

4

1 入力　パケットフィルタの設定をします。

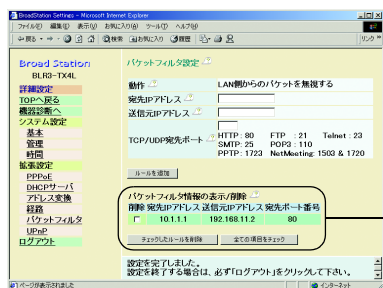
2 クリック　［ルールを追加］をクリックします。

宛先 IP アドレス　：対象になる宛先 IP アドレスを入力します。
　　何も入力しない場合は、すべてのアドレスが対象になります。

送信元 IP アドレス：対象になる送信元 IP アドレスを入力します。
　　何も入力しない場合は、すべてのアドレスが対象になります。

TCP/UDP 宛先ポート:通信パケットを無視する送信先ポートを入力します。

5 画面の下に「設定を完了しました」と表示された後、「パケットフィルタ設定」画面に戻ります。

6

追加したパケットフィルタが表示されます。

以上で設定完了です。

■ DHCP サーバ（IP アドレス自動割当）機能

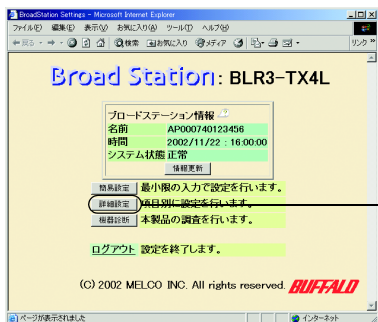
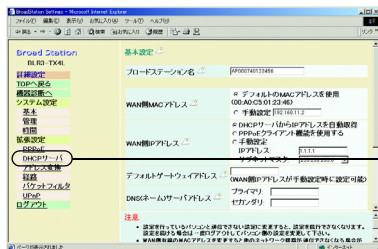
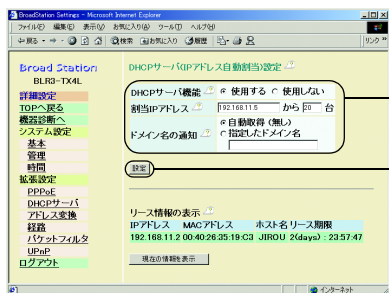
以下の場合の設定例を説明します。

DHCP で割り当てるアドレス

192.168.0.5 ～ 192.168.0.24

⚠注意 DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスは、BroadStation の IP アドレスと同じネットワークアドレスとなるように設定してください。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P10）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2 1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

3 1 クリック 「DHCP サーバ」をクリックします。

4

以上で設定完了です。

■ BroadStation の設定を出荷時設定に戻す

1 BroadStation が動作していることを確認します。

2 BroadStation の背面にある設定初期化スイッチを 8 秒以上押し続けます。

3 POWER ランプが緑色から橙色に変わったら、スイッチを離します。これで出荷時設定にリセットされます。

メモ 設定初期化スイッチについては、「5.1　各部の名称とはたらき」（P82）を参照してください。